

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 外国語指導事業	小中学校へALTを派遣する。	派遣延べ日数	日	1,074	1,092	1,023	1,032
② 自治体国際化事業	負担金を支出し外国青年招集事業によりALTを受け入れる。	ALTの人数	人	6	6	6	6
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
				H25実績	H26実績	H27実績	
1	ALTによる授業時数	児童1人が1年間にALTから授業を受けた平均授業時数	時限	12	10	12	11
				12	11	10	
2	ALTによる授業時数	生徒1人が1年間にALTから授業を受けた平均授業時数	時限	54	52	54	50
				54	59	47	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	実践的コミュニケーション能力の育成が難しくなり、生きた英語が学べなくなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	「エンジョイ・イングリッシュ」が全校で導入されたことから、画像を見ながら質問をするなど積極的な授業への関わりを持つ環境づくりを行った。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	JETプログラムより招致している状況であるが、最長5年の任用である。増員等でJETからの派遣が厳しい場合、任用満了後(H29.8)適任者があれば人材によっては検討する必要がある。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現在のALT6名で市内全学校を担当しているが、今後自治体国際化事業の推進や玉名学のエンジョイ・イングリッシュで「国際的知性を身に付ける教育」の充実のために、ALTの増員や活用方法も視野に検討していく必要がある。
昨年からの見直し・改善状況【32】	学校派遣回数については、均一化を図った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	児童・生徒にとってネイティブの英語を聞くことは学ぶうえでも大事であり、国際理解の観点からも重要なことから、今後さらなる増員や民間事業者の導入等幅広い検討を行っていく必要がある。特に、市が推進している小中一貫教育へ果たす役割も大きいと考える。	評価責任者 島崎賢二
------------------	--	---------------